

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立湖南中学校）

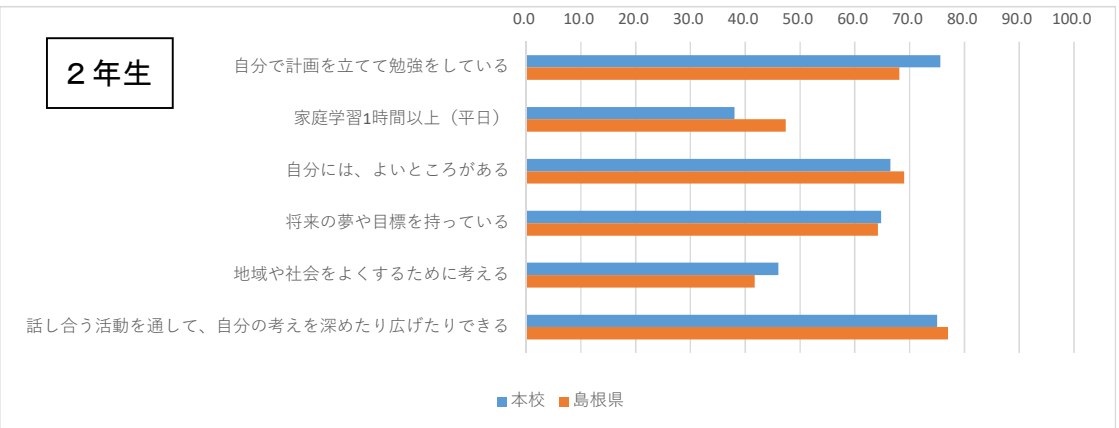
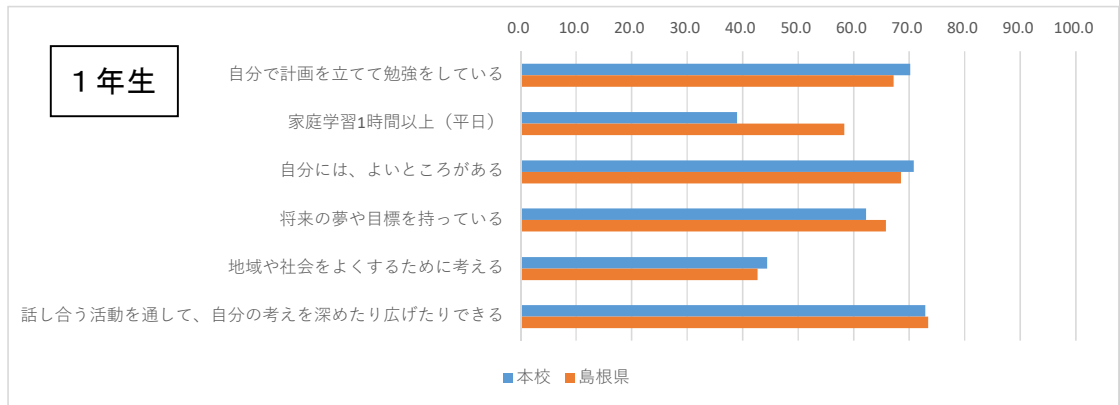
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○全体では県平均を上回る正答率であった。特に、授業で力を入れてきた読む力については、すべての設問で県平均を上回っていた。 ●書く項目が他の項目に比べて正答率が低かった。自分の考えを言語化し、文章にまとめることに課題が見られた。	2 年 国 語	○全体では、県平均を上回る正答率であった。特に、読み取った内容や自分の考えを明確にしなが条件に合わせて書く力はつきつつある。 ●言語事項について、漢字を書くことや敬語への理解など、課題が見られた。また、調べたことをレポートに書く際に、わかりやすく伝わるように文章の構成を工夫したり、自分の文章の改善点を見出そうとしたりすることに課題が見られた。
1 年 数 学	○基本的な計算力や知識・理解を求める問いについては、目標値を上回ることができていた。 ●文章を読み取って立式すること、規則性を考えて文字式に表したり、その式を説明したりすることに課題が見られた。	2 年 数 学	○全体では、県平均と同等の正答率であった。 ○特に図形の領域では、県平均を上回る正答率であった。 ●文章を読み取って立式すること、文字式で数の性質を表現したり説明したりすることに課題が見られた。
1 年 英 語	○リスニング(さまざまな英文の聞き取り)の能力は、全国平均を上回っており定着している。 ●書く分野全般の正答率が平均に比べて大きく下回っており、書く力が定着していない生徒が多くいる。	2 年 英 語	○リスニングで、絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解する問題の正答率が高い。文字を介さずに英語を理解する力については、 ●基本的な文の語順を理解し、正確に書く問題の正答率が低い。 また、場面に応じて書く英作文の無回答率が高い。つづりや語順に気を付けて、正確に書く力に課題が見られる。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○自分で時間を決めてテレビを見たり、遊んだりする割合が高く、時間を意識した生活を心がけている傾向が高い。 ○勉強するときに計画的に進めたり、集中して取り組もうとしたりする割合が高い。 ●勉強に図書館を使ったり、新聞の記事を読んだりする割合が低い。 ●平日1時間以上勉強している割合が低い。	2 年	○自分で計画を立てて勉強をしている生徒、地域や社会をよくするために考える生徒の割合が県平均を上回っている。 ●家庭学習1時間以上(平日)の生徒、自分には良いところがあると回答した生徒の割合が県平均を下回り、学習時間の確保と自分の良さについて気づかせていくことが課題といえる。
--------	---	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 151 名 2年生 174 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。